

校長室より(12月号)



12月22日(金)終業式

終業式では、次のような話をしました。

『2学期は体育大会があり、11月には各学年の行事がありました。行事などを通じて、皆さんは「チーム葺合」の一員として、お互いを高めあう行動や発言をしてくれたと思います。これからも、お互いが成長できるような雰囲気づくりをしてください。そんな中から、皆さんが持っている「キラッ」と光るものを見つけてほしいと思います。黄金の花を咲かせてほしいと思います。

3年生の皆さんは、もうすでに進路希望実現に向けた準備が始まっています。年明けの1月13日・14日には、共通テストが予定されています。不安がない人はいません。学問に王道はありません。残された期間、精一杯、自分との戦いに挑んでください。頼りたいことがあれば、遠慮なく先生方に頼ってください。本気で皆さんを支えます。

1、2年生の皆さん、「今年のことは今年のうちに」やってしまってください。やり残していることや気がかりなことは、今年中に解決する努力をしてください。何も手を付けずに年を越すか、少しでも取り組んでから新年を迎えるかで、その先の成果やスピードが大きく変わります。すっきりした気持ちで2024年を迎えてください。』

美の創造

人には美しいと感じる心が備わっています。

私たちが感じる美しさには、風景や芸術などだけでなく、振る舞いや感情など、人間としての心や行いに関わるものがあります。

「美」という言葉の意味について、辞書には「美しいこと、綺麗なこと」の他に、「良いこと、立派なこと」という説明もあります。敬う、感謝する、人を喜ばす、家庭を和やかにする、清掃する、物を大切に扱う、後始末をする、丁寧な言葉を使うなど、「良いこと、立派なこと」は、みんな美しいことであり、人々を感動させ、喜びを与え、幸せにします。

美の反対は「醜」です。「醜いこと、良くない行い、調和や均衡を乱すこと」という意味ですが、昨今は醜いと感じられる行為や事件が頻発しています。その背景には、美しさに対する意識の低下があるかもしれません。

私たちは誰でも、美しさを創り上げる可能性を秘めています。美の創造者が一人でも多くなれば、社会も家庭も学校も、更に良くなっていきます。